allcinema

渇望（1949）

TORST

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス
製作国　スウェーデン
色彩　B&W
時間　85分
初公開日 1992/10/10
公開情報 アルバトロス

【解説】

歯科助教授の夫と結婚してわずかのバレリーナ、ルートは、列車でのバカンス旅行に出る。まだうら若い二人だが、その様子はすっかり倦怠に包まれている。妻は足を痛め、以前のようにもう踊れないのを嘆いており、深酒をする夫はそんな妻との衝突に疲れて趣味の古コインをただ眺める……。映画は旅のホテルの一室に始まる。ルートはつらい初恋の想い出に涙ぐむ。妻子ある男との不倫で妊娠した彼女は堕胎し、それが原因で子供を産めない身体になったと思っていた。夫の昔の恋人ヴィオラの存在も気になった。手術ミスで脳膜炎を患ったヴィオラはその夫を亡くしたショックも手伝って精神に変調をきたしていたが、それをことさらあげつらう分析医の訊問から逃れたところをルートの夫に救われたのだった。帰路の列車、ルートはバレエ学校時代の旧友バルボルイを回想する。その精神的な絆の確かさを。しかし、大戦以降、彼女の行方も知れず、今やどうしていることか。そのバルボルイはヴィオラの初等学校での同級生だった。町でヴィオラを見かけ、バルボルイは自室に誘う。が、そこでバルボルイは露骨に同性愛的要求をする。動転したヴィオラはそのまま港まで走って身投げしてしまった……。自分たちの知人同士が知らないところで繋がりあい、永遠に離れた。そんなことは露知らぬ若い二人。夫は妻を殴り殺す夢を見た眠りから醒めた後、二段ベッドの妻の寝床へ降りて、本当だったら良かったんだ――と毒づきながらも妻を強く抱き締める……。戦後間もないドイツの惨状などをホームの物乞いなどで暗にほのめかし、戦火が個人にもたらした苦悩への目配りも忘れず、結果としてはポジティブな、ロッセリーニの「イタリア旅行」にも似た訴えを持った作品。初期ベルイマン作品を支えたＧ・フィッシェルのカメラがみずみずしい。

【クレジット】

監督　イングマール・ベルイマン　Ingmar Bergman
製作　ヘルゲー・ハーゲルマン
原案　ビルギット・テーングロート
脚本　ヘルヴェット・グレヴェーニウス
撮影　グンナール・フィッシェル　Gunnar Fischer
音楽　エリック・ノードグレーン　Eric Nordgren
出演　エーヴァ・ヘニング
ビルイェル・マルムステーン　Birger Malmsten
ビルギット・テーングロート
ミミ・ネルソン

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.